

上郷公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級		市・地	継続	43	706組	152組	479組	6月～3月	上郷公民館ほか
学級・講座	目的	実施内容	対象となる乳幼児の年齢に応じて、内容は保育士、保健師、主事で検討し決定する。 3歳：七夕、絵本、消防署、アフリカ太鼓、クリスマス会、節分、いちご狩り 2歳：絵本、プール、動物園、消防署、アフリカ太鼓、クリスマス会、いちご狩り 1歳：お菓子作り、プール、アフリカ太鼓、クリスマス会、絵本 0歳：助産師(母乳)、絵本、ベビーマッサージ			評価	【総括と今後の方向付け】 親子のふれ合い、健やかな育ち、保護者同士の繋がりをつくる場、そして地域住民と知り合う場となるように展開する。次年度は、児童委員に毎回関わっていただき、身近な住民と繋がり、安心して子育てができる環境をつくっていく。			
	乳幼児運動あそび教室		市・地	継続	9	71組		275組	7月～3月	
学級・講座	目的	実施内容	約1時間、親子が一緒に身体を動かして、触れ合える内容を実施。保護者同士の繋がりをつくることも意識し、丸くなって悩みを語り合う場を短時間ながら設けた。 講師：宮下泰広氏、宮崎奈保子氏(子ども身体発達運動指導士) 参加費：1回100円			評価	【総括と今後の方向付け】 参加者数が減ってきている。 アンケートの内容を踏まえ、本事業も含め、求められる場を研究し、提供していく。			
	子ども(親子)そば打ち教室		市・地	継続	3	63		580家庭	5月25日、6月15日、2月8日(親子)	黒田研修センター
学級・講座	目的	実施内容	地域内の団体に講師を依頼し、小学生(親子)を対象にそば打ち体験を行う。講師の指導の下、実際にそば粉からそばを打ち、麺きり包丁を使ってそばをきるまで体験する。試食は講師の打ったそばとてんがらを用意する。打ったそばは自宅へ持ち帰り、家族で試食することで家族のふれあいを図る。 内容：そば打ち 講師：下北農園の会			評価	【総括と今後の方向付け】 そばを打つという日常では経験できない体験を提供することができた。打ったそばを持って帰ることで、家族と一緒に食べながら、そば打ちに参加できなかった家族ともふれあいができた。また、講師を身近な地域の方にお願ひできたので、子ども・保護者と講師の交流の機会となった。次年度も継続する。			
	子ども料理教室		市・地	継続	2	48		580家庭	7月13日、10月5日	上郷公民館
学級・講座	目的	実施内容	地域内の人材に講師を依頼し、小学生を対象に料理教室を行う。講師の指導の下、料理に必要な基礎的な知識を身に付けると共に、実際に料理することで、料理する楽しさ、自分で作った料理のおいしさを感じてもらう。食に興味を持ってもらう。 内容：料理教室(ドライカレー、じゃがいものピザ、クレープ、ポタージュ、キャロットライス等) 講師：ひまわりの会			評価	【総括と今後の方向付け】 定員を上回る申し込みがあり急遽定員を増やした。1年生から6年生の参加があり、学年が均等になるように班分けを行ったことで、上級生が下級生に教えてあげようという交流もできた。食や料理に対して興味を持ってもらうきっかけとなった。会場の広さで1回の参加人数が限られてしまうので、次年度も複数回を実施する形で継続する。			
	あいさつ運動(立ち番)		市・地	継続	3	36	12		4月、8月、1月	
育成事業	目的	実施内容	新学期開始に合わせ、地区内の6箇所に青少年健全育成部員が立ち番を行い、生徒にあいさつする。立ち番を行う際には、帽子やたすきなどであいさつ運動実施中であることをPRする。 4月7・8日、8月20・21日、1月8・9日 朝7時～8時 実施場所：下北研修センター前、富起接骨院前、上郷小学校前、飯沼地下道入口、高陵坂入口、飯田高校東門前			評価	【総括と今後の方向付け】 あいさつができる生徒、できない生徒それぞれいるが、それについては評価なし。まず、地域の大人と生徒との関係を構築することを意識し、大人の側から生徒へ積極的にあいさつをしていくことを重視する。今年度の地域づくりフォーラムで採択した宣言を尊重し、やり方を改善して来年度も継続する。			

上郷公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演	市・地	継続	8	1,657		14,162	8月6日～10日	7か所
	目的 地域住民を対象に、身近な場所で人形劇を楽しむ、運営し、人形劇のまちいいたを盛り上げる。	実施内容 地区実行委員会を開催し、オリジナル企画の募集、運営方法など伝達し、情報交換をした。分館、上郷西保育園保護者会、黒田人形保存会、小学校4年3組・5年1組が企画運営した。 (期日、会場、運営主体、観劇者数、スタッフ数) ・8/6 黒田人形浄瑠璃伝承館(保育園保護者会) 222人、13人 ・8/6 上郷公民館(上郷小学校) 400人、35人 ・8/6 丹保研修センター(丹保分館) 221人、41人 ・8/9 南条田中八幡宮(南条分館) 59人、21人 ・8/10 飯沼南自治会館(飯沼南分館) 172人、20人 ・8/10 北条振興センター(北条分館) 150人、28人 ・8/10 黒田人形浄瑠璃伝承館(黒田人形保存会) 103人、48人	評価 【総括と今後の方向付け】 人形劇は概ね好評だった。運営スタッフの中には、当初は面倒と感じていたが、劇人の熱意や子どもの笑顔を見たときに達成感に変わったという方もいた。運営主体それぞれの工夫があった。人形劇を楽しむことのほかに、地域の大人と子どもたちが交流する貴重な機会となっている。 また、久々に小学生が公演することをきっかけとして、学校職員と地域住民の連携を深める企画公演を行った。そこに保護者も加わり、学校・地域・保護者が一体となって小学生公演を応援するという形がとれた。それぞれの立場で新しい出会い、交流があり、連携を深めることに成功した。小学生の側からみると、先生や親だけでなく地域のおじさんおばさんが自分たちを応援してくれていると実感できた。地域ぐるみで子どもを育てることに繋がる取組みだった。						
その他	分館役員研修会	市・地	継続	1		80	88	5月23日	上郷公民館
	目的 分館役員を対象に、公民館への反対意見に対して、誇りを持って活動にあたる心構えなどを身につける。	実施内容 分館活動の意義、想い、マンネリ化への対応など、分館役員の心構えについて学んだ。 <内容> ・講師 中島正韶氏(飯田市社会教育委員) ・講演 ここに住んで良かったなあ！あなたが主役の分館活動 ・参加対象 分館長、副分館長、分館主事、各専門部長、本館運営委員	評価 【総括と今後の方向付け】 改選後早い時期に研修を開催し、今後の分館活動への参考になった。次年度も分館活動に資する研修を開催する。						
育成事業	夏休み親子体験教室	地区費	新規	1	43		580家庭	8月7日、8月8日	飯田高校
	目的 小学生と保護者を対象に、多様な体験を提供する。高校生を地域づくりに呼び込む。	実施内容 飯田高校天文班と公民館育成部の共催で、2日実施。 飯田高校を会場に、天体望遠鏡で月を、手持ち型の望遠鏡で夏の大三角を観測し、また屋内でプラネタリウムを観た。講師(説明役)は天文班生徒に依頼。教室内容検討、チラシづくり、当日の説明まで幅広く主体的に取り組んだ。子どもはもちろん、保護者も楽しめた。高校生にとっても「教える」体験ができた。	評価 【総括と今後の方向付け】 親子で天体観測の体験、高校の校舎に入るという貴重な体験を提供することができた。また、他者に教えることで、天文班員の知識が確かなものになった。地域内に3つの高校がある強みを生かすため、今後も天文班に限らず、機会を捉えて、様々なクラブと連携していくことを育成部で確認している。						
学級・講座	クリスマス会&流星ウォッチ	地区費	新規	1	42		580家庭	12月20日	飯田高校・上郷公民館
	目的 小学生と保護者を対象に、多様な体験を提供する。高校生を地域づくりに呼び込み、住民と顔見知りの関係を作る。	実施内容 飯田高校天文班と上郷公民館の共催事業。 夏休み親子体験教室の反省をもとに、飯田高校天文班から冬の天体観測教室を開催したいという提案があり実現した。 天体観測として、こぐま座流星群、屋内でプラネタリウムを観ることにした。また、夏には天候悪化により提供するメニューが無かったことが反省としてあったので、天体観測ができなくなっても屋内で楽しめる、天文班ならではのメニューを考え、星座早見表をつくることにした。さらに、地域住民有志としてはクリスマス会としてもちつき体験メニュー、教室の最後におはぎを食べするというメニューを用意した。もちつきの下準備、おはぎのあんこづくりを天文班生徒と住民共同で行い交流した。 教室の副題を「クリスマスプレゼントはお星さま」と設定し、サンタクロースに扮した天文班生徒が星型のクッキーを配るというサプライズをした。	評価 【総括と今後の方向付け】 当日は悪天候により流星群を観ることができなかった。しかし、夏の反省を踏まえ、屋内で楽しめるメニューを天文班、地域それぞれの立場で用意していたことで、参加した親子には好評であった。 高校生と地域住民の交流ができ、もちつき体験も楽しんでもらえた。 高校生にとっては、事業を企画運営し、さらには反省をもとに改善し結果を出すという貴重な経験ができ、良い勉強になった。もちつき体験を通して、地域住民の力を感じてもらうこともできた。他者に教えることで、班員の知識が確かなものになった。 小学生を高校生が育て、高校生を地域で応援し育てるという人材サイクルのモデルになり得る。次年度は、地域の応援体制を整え、青少年の自主的な地域活動を応援していく。						

上郷公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	百人一首に挑戦!		地区費	新規	1	43		580家庭	12月23日	飯田高校
	目的	小中学生を対象に、多様な体験を提供する。高校生を地域づくりに呼び込み、住民と顔見知りの関係を作る。	実施内容	飯田高校競技かるた班との共催事業。 班員が模擬試合をし、解説することで小学生に分かりやすく伝える。 班員が各自好きな歌を1つ選んで紹介し、魅力を伝える。 好きな歌、気になった歌を小中学生が選び、画用紙に書き、イラストを描き入れて自分だけの札をつくる。札は持ち帰り、家庭で遊んでもらうよう図った。 練習で源平戦をする。自分が選んだ歌を取れるように配慮する。				評価	【総括と今後の方向付け】 百人一首のイメージとは異なり、スポーツ競技のような内容が小中学生には新鮮に映った。 班員たちも子どもたちに教えるを通して、歌の魅力を再認識し、知識を深めることができた。それぞれの立場で良い体験ができた。今後もかるた班員の自主性を尊重し、応援していく。	
文化事業	上郷地区文化祭		市・地	継続	1	534		14,162	11月15日、16日	上郷公民館
	目的	地区内個人、グループ、団体を対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、また、住民の交流の場として実施する。	実施内容	・ふれあいさわやか音楽祭 地区内の小中高の音楽関係クラブへ参加募集を行い、そこに社会人のコーラスグループも加わっての合同発表会とした。 各クラブ顧問、代表者による実行委員会を開催し、曲目、演奏順の調整、合同合唱実施などを決めた。 ・文化展、芸能祭 地区内より作品を募り、日頃の成果の発表の場とした。出品、出演クラブによる実行委員会を組織して運営した。 ・郷土料理を考える会、下北五平もちの会に依頼し、郷土料理を出品していただいた。 ・小学生向けに茶道体験教室を開いた。 ・ふれあいさわやか音楽祭参加クラブ数 10 ・文化展出展クラブ数 15 ・芸能祭出演クラブ数 18 ・茶道体験教室参加者数 21人				評価	【総括と今後の方向付け】 ふれあいさわやか音楽祭、文化展、芸能祭それぞれが日頃の活動成果発表の場になった。 音楽祭は、小学生の発表が終わると保護者も帰ってしまい、会場が寂しくなってしまう。 やきもち、五平餅の出品により、来場者が郷土料理を意識する場を作ることができた。音楽祭に参加した小中高生が郷土料理を知る機会にもなり、伝承という面で一定の成果があった。 出品数、出演数が年々と減ってきているが、成果発表の場として今後も運営を改善しながら実施する。	
学級・講座	高齢者学級		市・地	継続	156回	2,184	79	3,934	通年	上郷公民館ほか
	目的	地区内の高齢者を対象に、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る	実施内容	概ね60歳以上の高齢者を対象に、定例講座、クラブ活動、役員会を行う。 学級生より正副学級長、地区長、クラブ長を選出し、自主的に企画運営している。 ・定例講座 4月 入級式 6月 研修旅行(日間賀島) 7月 『『小さな世界都市』をめざして』小林恭之助氏 8月 クラブ発表会 9月 囲碁ボール大会 奉仕活動 10月 『安心・安全♡転ばぬ先の座談会』消費生活相談員、 いいだ地域包括支援センター 11月 上郷地区文化祭(文化展、芸能祭)参加 12月 忘年会 勅使河原学園・園児参加 40周年記念講演会「満蒙開拓団・語部さんの話を聞く会」 語り部 中島千鶴氏、小林勝人氏 1月 40周年記念映画鑑賞会『望郷の鐘』 2月 文集作成 3月 修了式『満蒙開拓団について』小林恭之助氏 ・役員会 毎月 ・クラブ活動 大正琴、書道、歌、短歌、雑学、卓球、マレットゴルフ、民謡、 綴り方、織物、健康と川柳と笑い、絵手紙				評価	【総括と今後の方向付け】 今年度40周年を迎え、役員会の企画で、満蒙開拓団・語部の話を聞いてから、映画『望郷の鐘』を鑑賞することとし、高齢者学級としてそろって平和学習をした。 いきなり映画を観に行くのではなく、事前学習を行ったことで、当時の歴史、人々の想いを深く学ぶことができた。 忘年会での地域の勅使河原学園・園児との交流や、地域づくりフォーラムへの参加など地域での交流も出来た。 クラブ活動の出席率は大変良く、意欲もうかがわれる。 90歳を過ぎても現役で活動する姿を手本に、今後も元気に活動できる仲間づくりの輪を広げたい。	

上郷公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	オーケストラと友に音楽祭2014コミュニティコンサートin上郷	市費	継続	4	450		14,162	5月4日	上郷小学校体育館
	目的 身近なところでプロのオーケストラを聴き、音楽に親しむ。	実施内容 住民有志、小中校吹奏楽クラブの顧問により実行委員会を組織し、企画運営にあたった。 小学校体育館でプロのコンサートを開催した。歓迎演奏を高陵中学校吹奏楽部で、合同演奏を、プロ、上郷小学校オーロラバンド、高陵中学校吹奏楽部、飯田高校吹奏楽班の4者で行った。ステージ背景は、飯田コアカレッジの学生に依頼し、上郷をイメージしたデザインを考えてもらった。	評価 【総括と今後の方向付け】 来場者アンケートは概ね好評だった。音楽の力、地域と学校が連携することの素晴らしさを実行委員も感じることができた。 演奏した小中高生にとっては、自分より上級生、プロの演奏に触れ、今後の練習の刺激にもなった。もう1度上郷で開催したいという声もあるが、コミュニティコンサートは毎年地区が変わるので、今年と同じ方法での実施はできない。						
学級・講座	上郷地域の成り立ちを知る会	市費	継続	4	82		14,162	6月6日、7月4日、8月1日、9月5日	上郷公民館
	目的 自分の住んでいる地域のことを知り、地域に対する愛着を深めてもらう機会とする。	実施内容 上郷地域及び周辺地域に関する連続講演を行う。 第1回 年中行事と行事食 話題提供 吉川碩人氏(上郷史学会) 第2回 伊那谷の「維新」 講師 青木隆幸氏(長野県立歴史館) 第3回 上郷の活断層と地震 講師 坂本正夫氏(飯田市美術博物館) 第4回 上郷を潤す野底山のはなし～野底の水利(三ツ井)・山論・恵み～ 講師 中島正韶氏(上郷史学会)	評価 【総括と今後の方向付け】 平成25年度の反省として、若い世代に参加してもらう方法を検討、というものがあつた。そこで、全て金曜夜の開催とし、参加しやすいようにと開催したが、若い世代の参加が得られなかった。若い世代を対象とする場合は、何を調べてほしいか、何を伝えたいかを明確化した上で、周知方法についても工夫が求められる。今後は、ふるさと学習教材作成事業の一環として、名称を変更して開催していく。						
その他	地域づくりフォーラム	市・地	継続	1	125		14,162	1月18日	上郷公民館
	目的 地域住民を対象に、地域課題の共有と解決方法を考える。	実施内容 地域住民が広く集い、身近な地域課題・生活課題について情報交換や話し合いなどを通じて学習交流し、改善に向けた取り組みを考える機会として実施。まちづくり委員会、小中学校PTA、消防団、商工会ほか各種団体で実行委員会を組織した。 テーマ「“地域ぐるみで子どもを育てる・地域で子どもが育つ”を考えよう！」 ○基調講演 「地域で子どもを育てる～『丘のみちしるべ』を通して～」 ○高陵中学校生徒による発表 “地域の活動について学び考えたこと・自分たちにできそうなこと” ○分散会 基調講演と中学生の発表を聞いて感じたことを語り合う。 ○フォーラム上郷宣言2015の採択 分散会での参加者の意見を反映させ、個人、団体として次のステップに繋がる宣言を採択した。以下宣言全文。 「私たちは、地域ぐるみで子どもを育てることの大切さを改めて認識し、まず、地域の大人と子どもの顔見知りの関係を作るため、大人の側から積極的にあいさつをしていきます。」	評価 【総括と今後の方向付け】 基調講演は、竜丘地区の取り組みが分かりやすかった、上郷でふるさと学習教材をつくる際の参考になるのではという意見があつた。中学生の発表は、若者らしく素晴らしいと好評だった。リニア中央新幹線開通に関する夢を聞いて良かったとする声も多かった。 これまでのフォーラムに対して、話し合ったことが次の活動に繋がったことがあまり無いのではという意見があつた。この意見をもとに、努力義務程度で個人・団体が取り組みそうなことを宣言として採択し、次に繋げることを実行委員会で確認した。全ての分散会であいさつの重要性を指摘する声があり、それを宣言にまとめた。宣言を踏まえ、公民館青少年健全育成部、生活安全委員会としてあいさつ運動を推進する雰囲気が強まり、参加者アンケートでも、できることから取り組みたいといった前向きな反応があつた。次に繋げるという点で一定の効果があつた。						
その他	上郷歩こう会	市・地	継続	10	630		14,162	5月18日	市内
	目的 ウォーキングを通し、地域の自然や歴史、文化について学習を深めると同時に地区内の親睦を深める。	実施内容 統一実施日を決め、分館事業として位置付け、それぞれの分館が計画し実施。 ・上黒田 かざこし子どもの森公園 89名 ・下黒田北 下黒田、歴史民俗資料館 59名 ・下黒田南 妙琴公園 84名 ・下黒田東 座光寺東の丘公園ほか 59名 ・丹保 上郷考古博物館 59名 ・北条 座光寺恒川遺跡 74名 ・飯沼南 消防署、考古博物館 47名 ・南条 ガイドブック下黒田コース 35名 ・別府上 市立動物園、美術博物館 86名 ・別府下 天竜峡 38名	評価 【総括と今後の方向付け】 分館独自に計画、運営されており、各分館の積極的な取り組みと、より多くの幅広い年代層の参加者が得られている。また、春の時期であるため、年度当初の分館内の親睦交流にも役立っていると同時に、PTA支会と共催して実施している分館もあり、親子のふれあいの場ともなっている。						

上郷公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	郷土料理教室		市・地	新規	1	15		580家庭	9月7日	黒田研修センター
	目的	親子を対象に、郷土料理を知り、作り、親しむ体験を提供する。	実施内容	上郷小学校生徒と保護者を対象に、親子での料理教室を開催した。下北五平もちの会を講師としてお願いし、地域住民が親子に教えるという形をとった。五平餅を作り、食べ、郷土に親しむ機会とした。			評価	【総括と今後の方向付け】郷土料理の伝承、親子のふれあい、住民同士のふれ合いの場として、継続していく。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	ふるさと学習副教材製作事業		0円	継続	3	18	6	6		
	目的	地域の住民、子どもたちが上郷地域の歴史や文化を学びやすくする。	実施内容	小学校で児童の歴史や自然などの上郷地域の学習に使用できる副読本をつくるための準備会を平成25年度より立ち上げている。準備会では、どのような内容載せるか項目の原案を作成した。平成27年度より実行委員会を組織し、作成に向けた学習・講座を開始する。			評価	【総括と今後の方向付け】住民主体で、住民・子どもに対する想いが込められた教材となるよう推進する。平成27年度から28年度までを作成期間として予定している。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	地域を知る会		地区費	新規	1	25		14,162	9月28日	黒田
	目的	地域住民を対象に、上郷地域の歴史・文化・自然・産業を現地に出向いて学習する。	実施内容	上郷地域の成り立ちを知る会の最終回を事前学習会と位置付け、野底山と三ツ井について学んだ。上郷公民館を出発し、井に沿って歩いた。黒田人形浄瑠璃伝承館を見学し、最後に焼き肉で交流した。			評価	【総括と今後の方向付け】日頃の公民館活動では見かけない新しい方の参加があった。ふるさと学習、健康づくり、住民の交流の機会として今後コースを変えながら継続する。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	上郷地区成人式		市・地	継続	1	132		188	1月11日	上郷公民館
	目的	新成人を対象に、地域で祝い、地域の一員としての一員としての自覚を持ってもらうようにする。	実施内容	新成人有志、上郷公民館文化部、分館主事会により実行委員会を組織し、企画運営にあたった。新成人の実行委員には、記念誌の取材を通じて郷土学習の場をつくり、地域への理解と愛着を深めてもらった。 ○記念写真撮影 ○記念式典 上郷地区からのお祝いとして、飯沼区獅子舞、木遣り ○郷土学習 上郷のきのこ(ぶなしめじ、ハナビラタケ) ○郷土料理出品 下北五平もちの会、郷土料理を考える会			評価	【総括と今後の方向付け】昨年度課題であった、小学校時代の恩師と新成人の交流(懇親会)を行うことができた。また、その席で郷土料理を出すことにより、「上郷地域として成人を祝う」という気持ちを新成人、来賓に示すことができた。郷土のことを学ぶという点は、記念誌を配布し、アナウンスでもPRしたが、実行委員でない新成人にとっては、地域のことを学ぶのは難しい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	郷土料理を考える会		市・地	新規	1	91	13	14,162	通年	上郷公民館他
	目的	上郷の郷土料理にはどんなものがあるのかを考え、レシピ(現代風にアレンジしたもの)を含めて試作し、上郷公民館文化祭で来場者に振る舞う	実施内容	リニア時代、地域外からの来訪者に郷土料理を振る舞ってでもてなす、という内容が『上郷地域基本構想・基本計画』に盛り込まれている。これを踏まえ、郷土料理にはどんなものがあるのかを考え、それを住民に振る舞うことを目的として実行委員会を組織した。上郷地域の成り立ちを知る会の「年中行事と行事食」を事前学習に位置づけ、講座受講者から実行委員の募集を行った。ムトス飯田交付金を活用した取組み。今年度は、やきもちをテーマとして取り組んだ。複数回の試作、検討を経て、上郷地区文化祭、上郷地区成人式に出品した。「懐かしおやき」、「塩イカとハナビラタケのやきもち」、「ピザ風森のやきもち」、「りんご焼きもち」の4種。			評価	【総括と今後の方向付け】郷土料理を食べる機会を得ることができ、郷土料理として将来に伝承されていく可能性が高まった。また、郷土料理を通して、高齢の方であれば懐かしく感じたり、実際の経験者でなくとも、かつての上郷の人々の暮らしを思い浮かべたりして、上郷の歴史の一端に想いを馳せることができた。成人式で焼きもちを振る舞うことにより、若い方にも郷土料理の1つを味わってもらうことができた。次年度は、野底山森林公園さくら祭りに高校生と共同出品予定。郷土料理に関連した年中行事を復活させたいという声から出ており、料理のみならず、行事についてもあわせて研究していく可能性がある。		

上郷公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	高陵地区体力測定会	市・地	継続	1	80	80	18,000	6月22日	上郷体育館
	目的 地区内住民を対象に、運動の大切さを伝える。	実施内容 高陵地区スポーツ推進委員が主催し、座光寺・上郷公民館と高陵わくわくクラブが共催した。上郷公民館体育部員は測定係員を担っている。 ・文部科学省「新体カテスト実施要領」に基づいたメニューによる体力測定及び判定。 ・「咬合力測定」を保健師が行った。	評価 【総括と今後の方向付け】 運動の大切さを伝えると同時に、座光寺と上郷両地区の交流の場にもなった。今後もスポーツ推進委員と協力していく。						
体育事業	囲碁ボール大会	地区費	継続	1	112	112	14,162	6月22日	上郷体育館
	目的 地区内住民を対象にニュースポーツを通じ、健康増進と参加者相互の親睦を図る。	実施内容 囲碁ボール大会を実施。分館対抗という形ではなく、それぞれで参加者を募集し、ランダムにチーム編成した。	評価 【総括と今後の方向付け】 分館対抗でないこともあり、純粋に楽しんで交流できた。健康づくりと交流の場として継続していく。						
体育事業	夏季体育大会	地区費	継続	1	550		14,162	8月24日	高陵中学校校庭
	目的 地区内住民を対象に、ニュースポーツを通じ、健康増進と参加者相互の親睦を図る。	実施内容 各分館が参加者を取りまとめ、分館対抗でペタンク大会を行う。ペタンクを種目とすることで、多世代が参加でき、広く親睦交流が深められる事業として位置付けている。途中で雨が降ってきたので進行を早めた。	評価 【総括と今後の方向付け】 例年、子どもが多く集まる体育事業である。多世代が一同に会して、楽しめるスポーツであり、今後も継続していきたい。						
体育事業	上郷地区大運動会	地区費	継続	1	2,599		14,162	10月26日	高陵中学校校庭
	目的 地区内住民を対象に、住民が一同に会し、運動を通じて親睦、交流を深める。	実施内容 分館対抗種目は各分館で参加者を取りまとめ、オープン参加種目は会場に來ている希望者が参加する運動会を行った。また、各種団体に種目をエントリーしてもらい、種目の組み立てを行っている。	評価 【総括と今後の方向付け】 上郷地区大運動会は、60年余の歴史があり、今後も後世に遺す上郷地区の継承事業と受け止め、より良い内容のものを企画運営する。						
体育事業	冬季体育大会	市・地	継続				14,162	2月1日(中止)	上郷体育館
	目的 地区内住民を対象に、冬季の運動不足解消と分館内外の交流を図る。	実施内容 インフルエンザ流行の影響により中止した。	評価 【総括と今後の方向付け】 インフルエンザ流行は毎年ありうることを踏まえ、次年度は春の内容と入れ替えて実施する(分館練習不要なコンパクトな大会とし、中止になった場合の影響を最小限にする)。						
育成事業	野底山森林公園まつりへの参加	市・地	継続	1	360			4月19日、11月3日	野底山森林公園
	目的 地域の祭りを盛り上げるとともに、青少年に多様な体験を提供する。	実施内容 青少年健全育成部員が担当し、企画運営した。 ・さくら祭り(4/19) 子どもを対象に、ニュースポーツ体験をしてもらい、景品として唐揚げをプレゼントした。スポーツ推進委員と共催した。 ・もみじ祭り(11/19) 小学生を対象に理科実験教室を開催。おもしろ科学工房に講師を依頼した。教室名:超低温の不思議な世界とリニア	評価 【総括と今後の方向付け】 景品を用意してあったので、子どもたちのモチベーションが高かった。北条にリニア駅が設置されるので、リニアが動く仕組みを子どもに知ってもらった。上郷地域のことに関連づけた体験教室を開催でき、好評だった。今後も野底山の祭りに参加し、野底山で楽しめるメニューを提供していく。						

上郷公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「広報かみさと」発刊事業	地区費	継続	12			14,162	毎月1回発行	上郷公民館
	目的 地区内住民を対象に、地区の記録、情報発信、課題提起、話題提供をする。	実施内容 地区内の記録、発信、課題提起、話題の提供を広報かみさとの発行により行う。まちづくり委員会広報紙としての機能も併せ発刊している。 〔号数〕86号～97号(館報通算771号～781号) 〔紙面〕B4タブロイド判 4面7回、2面5回 〔毎号掲載記事〕 「私の思うこと」地域の成人男女に依頼し、住民の自由な思いや意見 「瀬音」地域、行政、社会に対する意見や問題点、季節の話題に触れる 「絆」現在子育て中の親の悩みや、子育てを終えた方が当時大事にしていたこと・地区への提言など	評価 【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の広報も兼ねており、他の委員会と課題を共有しあう新たな広報誌を目指している。昨年度から引き続きまちづくり委員会より担当を出してもらい、公民館活動以外にもリニア関連、土地利用計画など地域の話題を幅広く掲載することができた。 一方で、紙面の記録部分、地域課題の投げかけの内容の薄さなどを指摘されることもあった。今後はこの点に重点を置いた広報誌となるよう努める。						

上村公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(ひよこちゃん)	市費	継続	8	31		4	月1回	保育園ほか
	目的 入園前の乳幼児とその親を対象として、①子育てに関する学び②遊びなどの体験を通じての親子のふれあい③こども同士の交流による成長④親同士の情報交換による子育て不安の解消やコミュニティ醸成などを目的に実施。	実施内容 乳幼児学級対象児の減少が見込まれるため、保育園児との交流や保育園保護者と合同の講座など保育園との連携をより深める。 【5/20】手型・足型をとろう♪かみっこで本に親しもう☆ 【6/20】歯科指導【7/8】ブルーベリー狩り 【8/21】プールあそび 【9/16】ベビーマッサージ(アロマハウス) 【11/27】収穫祭をしよう 【12/15】クリスマスパーティー 【1/22】保育園でお遊び 【3/10】わらべうたを歌おう♪(中津美奈子先生)+ひよこちゃん修了式 ◎南信濃地区と合同学級 【10/22】和田保育園で人形劇を楽しもう	評価 【総括と今後の方向付け】 対象数が昨年度の4組から今年度は2組に減ったが、ベビーマッサージやわらべうたなど、親も楽しめる組み立てを継続して行った。また、母親同士がコミュニケーションをとり交流できる機会があまりなかったが、対象の子の上の子が保育園におり、異年齢の交流、親子のふれあいなど遊びを通じた体験の機会を多く持つことができた。上村独自では子育てに関する学びはあまり実施することが難しいため、さらに、南信濃地区との合同学級の機会を多く設け、保育園の保護者も交えた情報交換や学習の場を提供していく。						
学級・講座	小学校PTA共催講演会	市・地	継続	1	55		484	1月31日(土)	上村コミュニティセンター
	目的 学齢期の子を持つ親を対象に、子育ての悩みを解消するための学習や親子のふれあいを見つめ直す機会とする。また、地域の方の参加も呼びかけ、地域が一体になって子どもの教育について考える機会とする。	実施内容 小学校PTAと連絡調整を図り、「基本的な生活習慣の習得」を目指し、保護者の意識向上と課題解決に向けた講座を展開する。小学校の生活科・総合学習発表と遠山中1学年の総合学習発表と教育講演を一連の会として実施。 共催:上村小学校PTA 内容:上村小学校「生活科・総合的な学習発表会」 遠山中学校1学年「総合的な学習・研究発表」 講演会「上村の自然は不思議でめずらしい」(坂本 正夫先生)	評価 数量的成果(項目名と数値) とても良かった80%、良かった20% 【総括と今後の方向付け】 小学校の参観日にあわせて講演会を行った。講演会の前段に上村小学校と遠山中学校の生徒による総合学習発表会を行い、地域の方にも大勢参加していただくことができた。PTA講演会には、飯田市美術博物館の坂本先生をお呼びし、エコパーク・ジオパークについて南アルプス・上村の貴重な財産をわかりやすく講演いただいた。今後も地域の魅力を子供まで地域一体となって考える機会を提供していきたい。						
学級・講座	小学生霜月祭横笛教室	市・地	継続	7	26		14	10月21日～11月30日	上村小学校ほか
	目的 霜月祭に対する関心を高め、実際に祭りの担い手として参加することによりふるさと意識の醸成を図る	実施内容 平成21年度から取り組んでいる「小学生霜月祭横笛教室」を継続し、練習の成果として小学生が一人もいない中郷地区のお祭りに小学生が横笛で参加することを最終的な目標として実施する。 ・小学校にて横笛教室…3回 ・中郷コミュニティセンターにて練習…4回	評価 【総括と今後の方向付け】 全3回の教室終了後、中郷地区の舞の練習に参加。また実際にお祭りへ小学生が参加し、横笛教室の練習成果を発表。お祭りの担い手として活躍することができた。今後は小学生だけでなく地域の方にも輪を広げ、後継者不足に悩む地区の祭りに出向いて、祭りの盛り上げ役を担うような取り組みとして継続していきたい。						
学級・講座	遠山森林塾(2地区合同 重点企画事業)	市・地	継続	5	35		2,149	実施内容参照	遠山郷2地区
	目的 地域住民を対象に、山との営みと共に歩んできた郷土を再学習し、郷土への愛着を深めてもらうことを目的とする。	実施内容 山をテーマにした連続講座を、2地区(上村)と合同で開催。 ・第1回(11/16):ユネスコエコパーク 現地学習会(坂本先生)参加者9名(新成人も参加) ・第2回(11/22):火おこし体験(木沢小学校)参加者26名 ・第3～4回(3/3.5):エコ・ジオパーク学習会(座学)遠山2地区それぞれで開催 ・第5回(3/26):エコ・ジオパーク現地学習会(南信濃)	評価 【総括と今後の方向付け】 課題でもあり、地域資源でもある遠山の森林をまずは若い世代へ伝え、山の大切さを知ること重点を置いた。単年度では解決できない課題でもあるため、今後継続していく中で既存の関係団体、他部局と連携しながら、いずれは2地区が融合した「遠山の森林を考える会」などの名称で自らが計画して活動していく展開になるような取組・支援をしていきたい。						

上村公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	野鳥観察会		市・地	継続	1	10		484	5月24日(土)	しらびそ高原
	目的	実施内容	地区内の自然に親しむ機会、また環境に関心を持つ機会として、遠山中学校に在職していた田畑先生を講師としてしらびそ高原を歩きながら野鳥観察を実施。 内容:しらびそ高原周辺を散策しながら野鳥観察(講師:田畑孝宏先生)			評価	【総括と今後の方向付け】 当日は天候に恵まれ、高原に住む貴重な野鳥を観察。多くのさえずりを聞くことができた。昨年同様、元遠山中学校の先生である田畑先生をお呼びし、野鳥の姿や絶滅危惧種のお話をお聞きすることができた。自然環境豊かな上村の魅力を伝える機会、また環境を意識する機会としても、地区内の自然に触れる事業を継続していきたい。			
学級・講座	星空観察会		市・地	継続	1	18		484	8月2日(土)	しらびそ高原
	目的	実施内容	地区内の自然に親しむ機会、地域の宝の再確認として、しらびそ高原にて学習会、野外にて観察会を実施する。 内容:学習会と現地観察			評価	【総括と今後の方向付け】 標高も高く、夏でも涼しいしらびそ高原にて、地区内・外より多くの参加者が訪れた。いろりを囲み、遠山郷の特産であるジンギスを提供しながら星空の観察をした。地区の宝を地区外はもちろん、上村住民にも地域の魅力を再確認する良い機会となった。今後も地区の名物事業として継続していきたい。			
学級・講座	家計に優しい省エネ講座		市費	継続	3	12		484	11月23日(日)	地区内3地区
	目的	実施内容	おひさま進歩と連携し、家計に優しい省エネ学習会を地区内3か所の集会施設を回り、実施。 内容:家庭で使われる電気の消費電力の学習会と節電チェックシートの実施 期日:11/23(日) 会場:程野区民センター、中郷コミュニティセンター、下栗交流会館			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年度好評であったため、今回3会場にて連続講座を開催したが、日曜日の昼間ということもあり、外出や農作業で参加しづらいことが分かった。今後は平日の夜に実施するなど検討していきたいが、環境を少しでも意識する機会として継続していきたい。			
学級・講座	人形劇フェスタ市内観劇バスツアー		市・地	継続	1	35		14	8月6日	かざこし子どもの森公園他
	目的	実施内容	図書館と共催し、平日で保護者が連れて行くことが困難なフェスタ開幕日に、地区公演とは違う雰囲気で見学できるようなコースを設定した。セントラルパークの散策は学年の縦割りグループごとの自由行動とし、上級生が下級生を引率しまとめた。 共催:図書館 内容:かざこし子どもの森公園で「めい遊」を観賞～羽場公民館にて昼食～美術博物館でプラネタリウム鑑賞～セントラルパークにて散策			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度で6回目の実施で、南信濃公民館とは4回目。子どもたちも楽しみにしており大勢の参加があった。地区内とは異なる環境で観劇すること、また学校を離れたところで子どもたちが集団行動を行うことにより、人形劇観劇に加え貴重な社会体験もできた。今後も南信濃公民館・図書館と協力し、取り組んでいきたい。			
学級・講座	世代間交流事業		地区費	継続	3回	19		19	実施内容参照	上村小学校・保育園
	目的	実施内容	高齢者クラブと連携し、保育園児・小学生を対象に、おやすやしめ縄作り作りなど、地域の伝統文化にふれる機会を提供する。 ・12/22...上村保育園おやす作り ・1/8...上村小学校小正月飾り ・1/14...上村小学校松送り、七草粥作り			評価	【総括と今後の方向付け】 一般家庭では年中行事が簡略化される傾向の中で、地域の伝統文化とそれに込められた意味を高齢者クラブの方から教えていただき、郷土への関心を高める機会となった。終了後には、給食と一緒に食べて交流も深められた。今後も継続して支援していきたいが、交流という視点から考えると、高齢者クラブの方も地域住民の一参加者としての立場もあるため、謝礼は廃止し、材料費のみ支援。数少ない交流を今後も支援していきたい。			

上村公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	かみっこお楽しみ会		地区費	継続	3	76		484	実施内容のとおり	かみっこ交流館
	目的	親子を対象に、本の読み聞かせ、工作・お菓子作りの体験を通して親子の交流を深め、集団行動での社会性を身につけることを目的に実施	実施内容	図書分館と共催し、保育園児・小学生の親子を対象に、工作作りや、五平餅作りを実施。共催：図書分館 【6/14】絵が動く工作「ゾートロップ」【10/25】 囲碁ボール大会と五平餅作り 【1/24】かるた大会とお雑煮作り→インフルエンザ流行により中止【3/14】読み聞かせとビンゴ大会			評価	【総括と今後の方向付け】 共同作業を親子でする事により、普段の会話だけでは味わえない絆が深まった。また、図書分館の係の方や、ボランティアグループつくし会の方と子供たちの交流を通して、お互いの顔や名前がわかるようになった事は防犯の意味も兼ねて重要な事だと感じた。多世代が本に親しみきっかけとして、今後も継続していきたい。		
文化事業	人形劇フェスタ2014 上村地区公演		他会計	継続	1	64		484	8月8日(金)(10日)は悪天候により中止	上村ふれあいセンター他
	目的	地区住民を対象に、身近な場所で人形劇に親しむ機会の提供と、地区独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。	実施内容	①8/8(金)19:00～ 上村コミュニティセンター「茶間屋ショーゴ」 主体：文化委員会、併催イベント：喜楽会の屋台 ②8/10(日)13:30～ 上村コミュニティセンター「青空共和国」・「いなご☆チャーハン」 主体：上町活性化委員会、併催イベント「魚のつかみどり」 →悪天候により中止			評価	数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 8/10(日)のつかみどりと人形劇については台風により中止となったが、8/8(金)の人形劇の会場運営には、地域の方のボランティアスタッフに加え、聞き取り調査に来ていた東京農工大学の学生も加わってもらい、慰労会での交流もできた。今年も中学生がスタッフとして参加してくれた。中学生ボランティアは今後も継続していきたい。		
文化事業	かみむら総合文化祭・健康まつり		市・地	継続	1	200		484	7月6日(日)	上村小学校体育館
	目的	地区住民を対象に、身近な場所で芸術文化に親しむことを、また地区の文化活動の成果発表の場と住民交流の場を通じて住民同士の交流を図る。	実施内容	上村まちづくり委員会・健康福祉委員会と共催で開催。地域の方々が芸術文化へ関心を高める機会の提供を図る。また、小学生・中学生との関わりを大切に、子どもの頃から芸術文化へ触れて興味を持つきっかけとして実施する。まちづくり委員会と共催。実行委員会を組織し、各委員会が役割分担をして実施。今回は紅葉シーズンを避けた7月に実施した。			評価	数量的成果 (項目名と数値) 良かった46%、普通46%、未記入8% 【総括と今後の方向付け】 観光客の対応で追われる紅葉シーズンを避けて実施したが、日程的に暑い時期であるため、飲食の販売については昨年度より減ってしまった。次年度はもう少し早い時期の検討も必要である。喬木吹奏楽団の演奏では上村地区歌を演奏してくれ、盛り上がった。住民の芸術文化に触れる機会として今後も無理のない組み立てをしながら継続していきたい。		
文化事業	遠山地区成人式(今年度より2地区合同開催)		市・地	新規	1	51	51	17	1月11日	南信濃地域交流センター
	目的	新成人・地区実行委員を対象に、地区をあげて新成人を祝福し、ふるさとを改めて感じてもらう機会とする	実施内容	今年度より統合遠山中学校として初めての卒業生が該当となり、2地区公民館、まちづくり委員会で検討した結果、遠山地区として合同で実施することとなった。 ・7/7…事前打ち合わせ(上村地区のみ) ・8/4…2地区合同打ち合わせ会議(南信濃) ・10/25…2地区新成人との打ち合わせ(南信濃) ・11/10…上村地区新成人との打ち合わせ(上村) ・11/16…地域体験学習(エ・ジオパーク現地学習会：上村) ・12/17…2地区合同打ち合わせ最終会議(上村) ・12/28…2地区新成人との最終打ち合わせ(南信濃) ・1/11…遠山地区成人式開催			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度より統合遠山中学校として初めての卒業生が該当となり、2地区公民館、まちづくり委員会で検討した結果、2地区合同で実施することとなった。事前打ち合わせ合同会議を数回行い、2地区のスタッフが連携して成人式を行うことができた。また、体験事業も両地区の新成人が参加し、当日学習成果の発表として成人式の中で披露することができた。 新成人は3年生から同じ学校で学び、上村・南信濃の区分としての感覚があまりないため、事前打ち合わせから当時の式典含め、スムーズに実施できた。今後も2地区合同事業として遠山地区が一体となり継続していきたい。		

上村公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲碁ボール講習会		0円	継続	1	19		484	5月17日(土)	上村コミュニティセンター
	目的	実施内容	囲碁ボール2セットにてルールの学習、4チームによる対抗戦を実施。			評価	【総括と今後の方向付け】 平日の夜から土曜日の日中にすることで、参加しやすさを図った。囲碁ボールは上村地区にも浸透してきたが、安全にできて好評であるので今後も実施したいが、そこに何か新しい誰でもできるニュースポーツをプラスしていきたい。			
体育事業	マレットゴルフ大会		地区費	継続	1	31		484	9月21日(日)	中山スカイパークマレットゴルフ場
	目的	実施内容	競技は個人戦と分館対抗戦で行う。分館対抗戦では、競技終了後に各分館3名ずつ抽選し、その合計スコアで分館の順位を決定する。			評価	【総括と今後の方向付け】 27ホールのため、高齢者には少し負担が大きく感じるため、今後の検討課題であるが、成績だけでなく親睦も目的としている。分館対抗戦では選抜ではなく全員が参加できるくじ引きの方式を採用している。事前に分館で練習会を開催しているところもあり、親睦という目的をより効果的に達成するには、各分館での呼びかけが重要となる。			
体育事業	ウォーキング講座		市費	継続	2	30		484	実施内容参照	上村コミュニティセンター
	目的	実施内容	保健福祉委員会と連携し正しい歩き方の指導とウォーキングに対する意識醸成を図る。 共催:健康福祉委員会 ・10/3...会場:上村コミュニティセンター 内容:靴の正しい掃き方・選び方・ストレッチ ・1/18...会場:上村コミュニティセンター 内容:体育委員会主催の囲碁ボールに合わせてウォーキング講座を実施。(講師:2回とも牧内隆雄先生)			評価	【総括と今後の方向付け】 内容は参加者に高齢者が多いということもあり、歩く時間とストレッチや健康に関する話が半々であったため、参加者には負担も少なく楽しく実施できた。参加者からは来年もぜひ実施してほしいとの声があり、地区にウォーキングに関する意識が高いことを感じた。来年度も何回かに分け、参加しやすい機会を多く設け、継続して実施したい。			
体育事業	かみむら大運動会		地区費	新規	1	200		484	10月11日(土)	上村小学校グラウンド
	目的	実施内容	平成15年度から小学校運動会と合同で、平成21年度からは保育園運動会も合同で開催。3者合同でプログラムを検討し、学校・地域との連携を図った。			評価	【総括と今後の方向付け】 3者(公民館・小学校・保育園)での会議が必要になるため、会議回数も多かったが、昨年見直しを図り、会議数を減らすことができ、役員への負担軽減につながった。 当日は晴天に恵まれ、担当が連携しあいながら運営から片づけまでスムーズに実施できた。今後も地域が一丸となる機会として、また、他地区にはない上村独自の運動会として継続していきたい。			
体育事業	冬季スポーツ大会		0円	継続	1	18		484	1月18日(日)	上村コミュニティセンター
	目的	実施内容	保健福祉委員会と連携し、ニュースポーツに併せて体力測定・ウォーキング講座を実施 共催:健康福祉委員会 講師:健康運動指導士 牧内隆雄先生(ウォーキング指導)			評価	【総括と今後の方向付け】 高齢者クラブが借用に來たり、自治会で囲碁ボールを購入するなど、囲碁ボールが地区へ浸透してきているが、もっと若い世代に参加してもらえるよう、親子を対象にした囲碁ボールや、交流会等の抱き合わせで実施するなど、さらに普及に努めたい。			

上村公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	公民館卓球大会・第21回小学生卓球大会	地区費	継続	1	27		2,149	2月21日(土)	上村小学校体育館
	目的 小学生と地区住民を対象に、地域に根ざしたスポーツ活動(卓球)の普及と住民交流を図る	実施内容 上村卓球クラブの後援、上村小学校、遠山中学校卓球部の協力を得て、小学生と一般の部で行う。今年度より、南信濃と共催する形をとり、参加者の増加を図る。 ■ジュニアカップ争奪戦(小学生全学年によるトーナメント) ■一般の部(男性・女性)	評価 【総括と今後の方向付け】 社会体育から中学校の部活動へと一貫した取り組みにより、卓球が地域に根ざした上村地区独自のスポーツとなっている。生徒数が少なくなる中で、昨年度より南信濃公民館体育委員会との共催で行っているが、南信濃地区住民、小学生生徒の参加が少ないため、検討と工夫が必要であるが、今後も遠山2地区で卓球の普及を図りたい。						
広報事業	館報「かみむら」発行	地区費	継続	年4回			400部	6月30日、10月30日、1月31日、3月15日	
	目的 地区住民を対象に、地域の情報発信、課題提起、将来への記録等を目的に発行	実施内容 地域をとりまく話題や課題に対し、地区住民の関心を高めるため年4回発行。 第168号 かみむらフェイスブック、入学式、野鳥観察会他 第169号 文化祭、人形劇フェスタ、若者の取り組み、かみむら大運動会他 第170号 遠山森林塾、世代間交流事業 第171号 上村地区成人式・飯田市公民館大会・卓球大会他	評価 【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の動向や現在取り組んでいる地域の活動、今後の地区の方向性など住民が最も知りたいことを伝えるのが、住民の手による編集権を持つ館報として重要な役割である。そのためには広報委員会の活動がどうあるべきか再確認しながら、今後も継続していきたい。						
その他	若い衆で地域を語らまいか！(2地区合同 飯田トス大学事業)	市費	継続	6	24		2,149	実施内容参照	実施内容参照
	目的 上村地区に住む20代から40代の住民を対象に、地域での心配事や意見、学習会を通して地域を自らのこととして考えられる人材を育成していくことを目的とする。	実施内容 昨年度より活動を展開している20代～40代の地区住民「若い衆で地域を語らまいか！」を活動母体に、東京農工大学の知見を取り入れながら活動を実施。 ①「若い衆で地域を語らまいか！」の活動 ・7/23…市政懇談会(活動報告と住民アンケートの集計結果の発表) ・11/20…意見交換会、今後の活動内容検討 ・1/19…アンケートの分析検討と今後の活動内容検討 ・3/7…「果てぬ村のミナ」上映会の実施 ②遠山2地区合同会議・事業 ・11/26 場所:南信濃地域交流センター 講師:東京農工大学朝岡教授・中村さん(4年) 内容:地元学講義・アンケート結果の分析と今後の取り組む内容について ・2/15…飯田市公民館大会にて遠山地区の話題提供 ・2/23 場所:上村自治振興センター 講師:東京農工大学朝岡教授・土屋教授・中村さん(4年) 内容:2地区それぞれの魅力・課題を生かした取り組みの検討 ③他地域との交流	評価 【総括と今後の方向付け】 20代から40代の地域を担う若者が集い語り行動に移していく取り組みとして平成23年度から「若い衆で地域を語らまいか！」として活動を展開。昨年度は、東京農工大学の知見を活かし、地域にある宝に光を当ててくと言った地元学の講義なども取り入れながら、地域住民へのアンケート調査を実施し、今年度はその結果を市政懇談会にて報告することができた。また、昨年度から人口減少といった共通の課題を持つ南信濃地区との合同会議も開催し、ネットワークも継続している。次年度はアンケート詳細に分析し、報告書を完成させ、まちづくり委員会への提言などを行っていく。また、他地区との交流も積極的に参画していきながら、若者が自ら企画し行動していくことに結び付けていくよう今後も引き続き支援をしていきたい。						

南信濃公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「すこやか学級」	市費	継続	12	105	15	30	実施内容参照	和田保育園他
学級・講座	目的 乳幼児とその親を対象に、子どもの成長発達の確認、子育てに関する知識の習得、親同士の仲間作り、子どもの社会性の育成を図る	実施内容	月に1回開催。今年度は和田保育園と合同で実施している。 ①5/20 開講式 ②6/10 サツマイモの苗植え ③6/14 コーディネーショントレーニング 講師:ICOT ④7/8 水遊び ⑤9/22 読み聞かせ 講師:下沢洋子先生 ⑥10/21 人形劇 ⑦11/11 焼きいも大会 ⑧11/26 親子健康体操 講師:針間道夫さん ⑨12/10 クリスマス会 ⑩1/13 乳幼児相談 ⑪2/17 救命講習会 講師:阿南消防署和田分署 ⑫3/12 閉講式 手形・足形 パン作り 講師:山崎一代さん			評価	【総括と今後の方向付け】 保育園のひよこの会と合同で実施。ほとんどの親が未満児保育を利用しているため学級としての目的達成に向けた活動につながりにくい現状にある。このため保護者会と相談する中で参観日に合わせ実施する取り組みを行った。これにより未満児から保育園児の親子まで広げることにつなげることができた。今後、少子化が進む中でどの様な目的で実施していくのかを参加者や関係機関と検討を行っていく。		
学級・講座	家庭教育講座	市・地	継続	1	34	1	1,665	10月22日	和田小学校
学級・講座	目的 学齢期の子を持つ親を対象に、子どもの基本的な生活習慣について考える機会とする。	実施内容	携帯電話の普及によりインターネットなどが身近なものになり、非常に便利になる一方で、使い方を一歩誤ると犯罪やいじめにつながる危険性も秘めている。県内での状況や、正しい使い方、また「子どもを守る観点」から学習を深める機会とする。 テーマ 「ネットトラブル防止啓発講演会」 講師 (社)セーフティネット総合研究所 専務理事 南澤信之 氏 (長野県警察サイバー犯罪対策アドバイザー 学術博士)			評価	数量的成果 (項目名と数値) 大変良かった・よかった 100% 昨年度に引き続き、インターネットをテーマに実施した。県内や飯田下伊那の実例を交えた講師の講演は参加された地域住民や保護者にとって簡単にインターネットを使える環境が犯罪などのトラブルにつながる可能性を学習することができた。今後もPTAと連携を保ち、親や地域の方々が学ぶことから実践する取り組みにつなげるようなテーマ設定を行っていきたい。		
学級・講座	高齢者学級	市費	継続	1	82	82	917	2月18日	南信濃地域交流センター
学級・講座	目的 65歳以上の高齢者を対象に、健康づくり、学習と交流の場作りを図る。	実施内容	高齢者講演会の開催 テーマ元気で長生きする秘訣！ 講師:柄木田孝行先生(元県公民館長) 火災予防に関する学習会 講師:阿南消防署和田分署			評価	【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会を中心に今年度から月一回の高齢者ふれあいサロンが設置されたため、今まで行っていた健康学習などの事業は再編を行い、講演会を実施した。高齢者クラブ員による声かけなどにより、多くの参加者を得ることができた。テーマ設定なども、クラブ員を中心に検討いただき、自ら行いたいことを具現化する取り組みにつながってきている。今後も他団体との連携を推進していく。		
学級・講座	人形劇団育成講座	市・地	継続	35	280	8	1,665	実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	目的 地域住民を対象に、人形劇を通じた、地域づくりを図る。	実施内容	プロの人形劇団による人形劇指導、人形作り、人形劇フェスタ2014での上演など。 ◆劇団名「遠山☆きらり」 ◆人形劇講座 ①6/13・7/23 人形劇人による指導 講師:くすのき燕 ②公演に向けた講座 29回 会場:学週交流センター他 ◆公演 ①8/8 人形劇フェスタ2014 南信濃地区公演 会場:地域交流センター ②12/23 図書館クリスマス会公演 会場:学習交流センター ③1/22 高齢者住宅公演 会場:南信濃高齢者住宅 ④2/21 ふれあいサロン公演 会場:南信濃福祉センター			評価	【総括と今後の方向付け】 3年目の取り組みに入り、参加者同士切磋琢磨し技術向上を図っている。今年度は新たな民話の劇化にチャレンジし「藤姫物語」を劇人の指導を仰ぎながら完成させた。フェスタだけではなく一年間を通じ公演を行いながら、参加者同士の交流と上演技術の向上を行ってきた。また新たなメンバーや劇団を裏方として支える地域住民といった劇団からつながりを持った人の輪ができた。今後も民話を次世代に伝えていくことを目的にしながら継続的な取り組みにつなげていきたい。		

南信濃公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	平和学習事業(満蒙開拓の歴史)		市・地	新規	1	20	20	1,665	12月11日	センゲキシネマズ
	目的	地域住民を対象に、平和学習の機会の提供を図る。	実施内容	◆望郷の鐘映画観賞会と満蒙開拓の地域のつながり 満蒙開拓を描いた「望郷の鐘」の映画を鑑賞することで、当時の様子を学習するとともに、当時を知る方からの体験談をお聞きし、更に平和についての学習を深める講座を実施。			評価	【総括と今後の方向付け】 この地域でも多くの満蒙開拓やシベリヤ抑留された方が多く。戦争の歴史は遠い国の事ではなく、この地域の史実と密接に関わりを持っている。このため戦争体験者などの話を記憶を記録として残していくことが今後必要になってくる。資料収集だけではなく活用するきっかけづくりを行っていききたい。		
学級・講座	糖尿病連続講座		市費	新規	1	30	30	1,665	3月27日	南信濃地域交流センター
	目的	地域の住民を対象に健康や食に対する関心を高め、自身で行う健康づくりのきっかけの場を提供する。	実施内容	地域住民を対象に糖尿病予防に向けた連続講座を実施する。 糖尿病予防 料理教室 講師:食生活改善グループの皆さん 上手な歯磨きの仕方 講師:歯科衛生士			評価	【総括と今後の方向付け】 糖尿病及び予備軍が比較的地域内に多くいる中で、生涯健康・生涯現役を目指した糖尿病予防の連続講座を行う。食生活の改善が基本になるため、単発的な講座ではなく家庭で実践できる講座としていきたい。		
学級・講座	図書館との合同事業		地区費	継続	6	196	32	1,655	実施内容参照	実施内容参照
	目的	地域住民を対象に、手芸や折り紙・工作を通じた学習と交流の場づくりを図る。	実施内容	①5/15 読み聞かせ 会場:学習交流センター 6人 ②6/13 大人の読み聞かせ 会場:学習交流センター 32人 ③8/7 人形劇フェスタ2014/バスツアー 会場:文化会館他 38人 ④11/29 マスコットづくり・読み聞かせ 会場:学習交流センター 22人 ⑤12/21 クリスマス会 会場:学習交流センター 58人 ⑥3/251 お楽しみ会 会場:学習交流センター 40人			評価	【総括と今後の方向付け】 各回、南信濃図書館と企画して実施した。読み聞かせや紙芝居などを事業の中に組み込むことで、子供たちが本に親しんでもらえるような内容とした。また、子供たちに主体性を持ってもらうよう、裏方や読み聞かせなどを行っていただいた。地域の高齢者とのふれあいの機会も設けたことで、世代間交流にもつながりが持てた。参加者の反応も好評で、次年度以降も多くの参加が得られるような内容を検討していききたい。		
学級・講座	女性学級		市費	継続	2	35	20	891	実施内容参照	実施内容参照
	目的	地域の女性を対象に、地域の課題に目を向けた、学習・交流の機会の提供を図る。	実施内容	①9/26～29「陶芸教室」講師:せせらぎの里陶芸館 松沢進さん 15名 ②12/25「フラワーアレンジメント講座」講師:ラブリ 伊藤篤さん 20名			評価	【総括と今後の方向付け】 参加者が固定してきており、若い女性の参加が少ないことなどから、女性学級といった名称での事業は少なくし、他の講座に軸を置いた展開を図った。しかしながら女性の視点による学習テーマも必要であるため、多くの地域の声を聞く中でテーマ設定を行っていききたい。		
学級・講座	ブッポウソウ保護活動		地区費	継続	1	10	10	1,665	4月29日	地区内
	目的	地域住民を対象に自然保護に対する意識の向上を図る。	実施内容	遠山川に架かる橋の欄干や、龍淵寺の立木に合計15個のブッポウソウの巣箱をかけた。ブッポウソウは県の天然記念物に指定されており、県内では20つがいほどしかいない貴重な鳥で、その保護活動を通じて自然をを理解し、自然を保護する気持ちを育てる機会とした。 4/29「ブッポウソウの巣箱かけ」参加者10名 遠山川に架かる橋の欄干や、龍淵寺の立木に合計15個のブッポウソウの巣箱をかけた。			評価	【総括と今後の方向付け】 ブッポウソウの巣箱を地区内の橋梁などに取り付け、観察を行った。ブッポウソウは全国的には数が減少しているが、この地域では増加傾向にある。遠山の貴重な鳥として取り組みを継続していききたい。野鳥の問い合わせも多く寄せられるため、地域内での学習の機会を設ける中で取り組みを活発にしていきたい。		

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	夏休み子ども講座		市・地	継続	9	224	36	57	実施内容参照	実施内容参照
	目的	小学生を対象に、自然・歴史・文化など 地域に溢れる資源を学ぶことで、地元へ愛着が持てる人づくりを目指す。	実施内容	保護者アンケート等から地域資源を活用した連続講座を実施。対象：小学生 ①7/28 コーディネーショントレーニング 会場：海洋センター 講師：ICOT小平さん 参加者20名 ②7/29 人形づくり講座 会場：学習交流センター 講師：社教団体の皆さん 参加者28名 ③7/30 平和学習 会場：南信濃学習交流センター・慰霊碑 参加者17名 ④7/31 竹の水鉄砲づくり講座 会場：海洋センター 講師：鎌倉豊さん 参加者28名 ⑤8/1 夏野菜料理教室 会場：福祉センター 講師：食改 参加者22名 ⑥8/4 木工教室 会場：学習交流センター 講師：森林組合 参加者29名 ⑦8/5 川の学校 会場：遠山川 講師：遠山漁協 参加者28名 ⑧8/6 おもしろ科学教室 会場：海洋センター 講師：おもしろ科学工房 参加者30名 ⑨8/8 フェスタコレクション講座 会場：地域交流センター 講師：地域ボランティア 参加者22名			評価	【総括と今後の方向付け】 長期休暇中の連続講座として今年度は9回実施した。事前に保護者と小学生に何を学び学ばせたいかのアンケートを実施し地域資源を活用した講座の組み立てを行った。また地域内ボランティアを募集し、地域で子どもを育てるといった取り組みに位置付けた。 講座の準備、あいさつなどは上級生を中心に実施し、講座での学びだけではなく、心身ともに成長につながった。 各講座とも多くの参加者が得られ好評であり、その後の保護者からも継続を要望する声があがっている一方で、長期休暇中の居場所づくりが課題となっている。今後、この課題に対しどのような様な地域での仕掛けがよいか検証をするともに、子どもにとって地域を学ぶことの大切さを保護者・地域を交え検討していきたい。		
学級・講座	遠山森林塾		市・地	継続	3	83	35	1,665	実施内容参照	実施内容参照
	目的	地域住民を対象に、山との営みと共に歩んできた郷土を再学習し、郷土への愛着を深めてもらうことを目的とする。	実施内容	◆火おこし体験講座 11/22 参加者26人 講師：遠山山の会 ◆エコパーク学習会 講師：飯田美術博物館 坂本正夫先生 ・上村編 11/16 会場：上村内 参加者9人 ・座学 3/6 会場：南信濃地域交流センター 参加者38人 ・南信濃編 3/26 会場：押出地区・本村地区 参加者36人			評価	【総括と今後の方向付け】 豊富な森林・自然資源を活用し、地域住民に再度地域を見直していただくきっかけづくりとして開催した。平成26年6月にユネスコエコパークの登録を受けた南アルプスや、若者PJで行ったアンケートなどにも守り続けていきたい資源として自然・森林などが多くあげられている。今後も地域の資源を活用した事業展開や、地域住民が知己に目を向け魅力を高めることができる講座づくりを行っていく。		
学級・講座	春休み連続子ども講座		市・地	新規	4	100	20	57	実施内容参照	実施内容参照
	目的	小学生を対象に、自然・歴史・文化など 地域に溢れる資源を学ぶことで、地元へ愛着が持てる人づくりを目指す。	実施内容	保護者アンケート等から地域資源を活用した連続講座を実施。 対象：小学生 ①3/23 ウォーキング講座 会場：新島川原橋周辺 参加者23名 ②3/24 環境わくわく講座 会場：桐林リサイクルセンター 講師：湯澤眞理子さん 参加者23名 ③3/25 お菓子づくり講座 会場：南信濃学習交流センター 講師：図書分館 参加者30名 ④3/26 エコパーク・ジオパーク学習会 会場：押出地区他 講師：坂本正夫先生 参加者24名			評価	【総括と今後の方向付け】 夏休みに引き続き長期休暇中の子供の居場所づくりのモデルとして開催。単なる居場所づくりではなく、地域資源を活用した取り組みとして開催する。地域内ボランティアの募集をかけ、地域の人材を活用した展開を図り、南信濃地域にあった受け皿づくりの検討を今後行っていく。		

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	コーディネーショントレーニング講座	市費	継続	1	10	10	57	6月14日	B&G海洋センター
	目的 地域の住民を対象に健康や食に対する関心を高め、自身で行う健康づくりのきっかけの場を提供する。	実施内容 小学生を対象に、神経と筋の協応性を高め、自分の体を巧みに動かす能力を高めるコーディネーショントレーニングの実施 講師:ICOT 小平美恵子さん	評価 【総括と今後の方向付け】 コーディネーショントレーニングは非常に好評で、子どもも楽しく身体づくりを学ぶことができた。単発的な講座ではなく継続的かつ家庭で実践できるように、他の事業と結びつけた展開を図っていききたい。						
文化事業	第4回かぐら寄席	他会計	継続	1	100	100	1,665	3月22日	かぐらの湯交流ホール
	目的 市民を対象に、音楽を楽しむ機会とする。子どもたちに優れた音楽に親しんでもらうことを目指す	実施内容 南信濃振興公社・チームモッセとの共催。 地域の福祉と地域の文化向上のための事業として位置づけ、飯田出身の橋家圓十郎師匠を招き実施。 嘶家 橋家圓十郎師匠・のだゆき(音楽パフォーマンス)	評価 【総括と今後の方向付け】 普段聴くことのできない寄席の機会を設けることにより、地域住民が一同に介し、日本古来の文化に触れることができる。次年度以降も地域内の団体と連携した事業展開を図っていききたい。						
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2014	地区費	継続	4	217	40	1,665	実施内容参照	実施内容参照
	目的 地域住民を対象に、芸術鑑賞することで、感情や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにするような機会の提供を図る。	実施内容 ◆地区オリジナル企画 ①7/10 人形作りインストラクター養成講座 会場:飯田文化会館 講師:吉澤亜由美さん 参加者11名 ②7/29 人形づくり講座 会場:学習交流センター 講師:社教団体の皆さん 参加者28名 ③7/29~8/8 welcome人形展in南信濃 参加事業所数7 ◆南信濃地区公演 南信濃地域交流センター会場にて文化委員が中心となり実施。 8/8 遠山☆きらり・TGK11・よろず劇場とんがらし 南信濃地域交流センター交流ホール 参加者139名 ◆人形劇観劇バスツアー 参加者39名 フェスタで賑わう街中の様子や雰囲気を経験することで人形劇のまちを改めて知ってもらう機会として実施。遠山2地区の子どもたちの交流の輪を広げるため、上村地区と合同開催した。 8/7 かざこし子どもの森公園「めい遊」観劇→飯田市美術博物館(プラネタリウム観賞)→フェスタセントラルパーク散策	評価 【総括と今後の方向付け】 地区オリジナル企画として、ウエルカム人形展を実施。外部講師を招くのではなく、社会教育関係団体の皆さんに技術習得して頂き、地域住民が教える講座として企画した。また地域内事業所に子どもたちが作った人形を置くことで、地区公演のPRと地域から人形劇を盛り上げる取り組みにつながった。地区公演当日は子どもたちが制作した人形を集めたり会場デコレーションを子どもたちが行ったりなど、楽しみながら支えるといった視点を持つことができた。公演も小学校劇団・地元人形劇団のジョイントにより多世代の観劇者が訪れ大いに盛り上がった。また東京農工大学の学生スタッフなど地域内外のスタッフにより支えられた公演であった。次年度も地域内の団体との連携を図りながら人形劇の楽しさを伝えられる公演にしたい。						
文化事業	ふるさとコンサートin遠山郷	地区費	継続	1	130	130	1,665	7月19日	かぐらの湯交流ホール
	目的 市民を対象に、音楽を楽しむ機会とする。子どもたちに優れた音楽に親しんでもらうことを目指す	実施内容 au企画を通じ、サクソフーンカルテット桜を招き、文化委員会・南信濃振興公社・チームモッセによる実行委員会方式で開催。	評価 【総括と今後の方向付け】 南信濃振興公社とチームモッセとの共催により昨年度に引き続き実施した。普段聴くことのできない演奏を間近で聴くことができ、地域内外の参加者が多く訪れ、次年度以降も継続して欲しい声が上がっている。中学生等の参加ができなかったため次年度に向け調整を図り、より地域に密着した公演づくりを行っていききたい。						

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	生活改善 盆の取り決め		地区費	継続	1	703	703	1,665	7月～8月	各世帯で実施
	目的	冠婚葬祭の簡素化について、住民意識の高揚を図る	実施内容	新盆お見舞の簡素化は南信濃においては長年にわたって取り組まれているが、なかなか改善されない。そのため、まちづくり委員会との連携により新盆お見舞の日を少なくすることを呼びかけ、新盆世帯の負担軽減を図る。 ・新盆世帯向けチラシの配布 ・盆の取り決めの地区内周知			評価	【総括と今後の方向付け】 「新盆お見舞い」は各家で行う風習であり、公民館が積極的に結論を導く問題ではない。しかしながら継続した生活改善の取り組みを行うことにより、新盆世帯の負担軽減や住民意識の高揚につながってきている。各分館が主体的に関わりを持ち行っている事業であるため、まちづくり委員会とも連携し継続的に行っていきたい。		
文化事業	遠山地区成人式		他会計	継続	1	52	52	17	1月11日	南信濃地域交流センター
	目的	新成人を対象に、地域に目を向けるきっかけを作ると共に、新成人としての自覚を促す機会とする。	実施内容	上村地区との合同開催で実施。新成人、二地区文化委員会による実行委員会体制により式典などの組み立てを実施。 10/25 第1回成人式実行委員会 参加者 5名 11/16 地域学習・第2回実行委員会 参加者3名 内容:エコパーク・ジオパーク学習会 12/28 第3回成人式実行委員会 参加者 13名 1/11 南信濃地区成人式 記念事業:皿の絵付け			評価	【総括と今後の方向付け】 統合遠山中学校となり初めての卒業生が対象となり、前年度よりまちづくり委員会・公民館を中心に開催方法について議論を行い、今年度より合同開催として実施した。 式典は両地区文化委員会が中心となり企画し、上村で実施されていた成人証書の授与や南信濃の絵付け体験など両地区特徴的なものを取り入れた。 また、地域・家族から新成人へのメッセージ集を作成したり、保護者にも式典への参加を促し、新成人一人ひとりから成人を迎えるの家族や地域に対しての言葉を述べる機会を設け、思い出に残る成人式となった。新成人が少なくなる中で地域の特色を活かした成人式をどう創り上げていくか引き続き検討をしていきたい。		
体育事業	第61回南信濃地区野球大会		地区費	継続	1	85	85	1,665	8月15日	南信濃運動場
	目的	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	実施内容	新町、本町、西部、南和田、木沢・八重河内の5チームが参加。トーナメント方式。盆野球として親しまれ、昭和24年から始まった歴史ある大会である。各チーム選手集めに苦慮しているが、お盆に帰省している方もメンバーに変わり実施してきている。 優勝:西部チーム 準優勝:新町チーム			評価	【総括と今後の方向付け】 伝統を受け継ぐ野球大会であり、帰省した方も参加できるのが特徴である。参加チームの代表と体育委員会を中心にした実行委員会方式で行い、運営も全て持ち回りで行われている。次年度以降も計画していきたい。		
体育事業	南信濃公民館マレットゴルフ大会		地区費	継続	1	40	40	1,665	8月30日	天仁の杜
	目的	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	実施内容	オープン参加のマレットゴルフ大会。 南信濃マレットゴルフ同好会・体育委員会・南信濃図書館の共催事業。 マレットゴルフを通じた健康増進、世代間交流の機会として実施。			評価	【総括と今後の方向付け】 例年3月開催であったが、夏開催に変更し実施した。マレット愛好会の皆さんを中心に運営がスムーズに行われた。健康づくりの視点では目的を達成しているものの世代間交流といった部分では再度日程調整するなど検討していく必要がある。		
体育事業	第34回南信濃地区ソフトボール大会		地区費	継続	1	70	70	1,665	8月24日	南信濃運動場
	目的	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	実施内容	遠山クラブ・橋北・夜川瀬・南和田・南部・本町の6チームが参加。1チーム2試合のリーグ戦及び決勝戦。御射山ソフトとして親しまれ、恒例の行事である。地区ごとや中学生チームの参加で7チームが熱戦を繰り広げた。1チーム最低2試合できるように、変則トーナメント方式で開催している。 優勝 南和田 準優勝 南部			評価	【総括と今後の方向付け】 地区だけではなく、中学生チームの参加があり、大会が盛り上がった。地域の親睦を深める機会として、今後も継続していきたい。		

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	南信濃地区市民運動会			地区費	継続	1	450	450	1,665	10月12日	南信濃運動場
	目的	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	実施内容	地域住民の健康増進、コミュニケーション機会の提供として、体育委員会を中心とした実行委員会体制で実施。 全18種目。内、5つの地区対抗種目は、木沢・南和田・八重河内・和田橋南A・和田橋南B・和田橋北の6チームに別れて競技を行った。			評価	【総括と今後の方向付け】 体育委員をはじめ、各専門委員会、分館による実行委員会体制により運営を行った。また多くの中学生・高校生スタッフ(21名)の協力もあり、準備から片付けまで主体的な取り組みができた。人口の減少に伴い、地区対抗種目の選手の選出が難しい地区もあるが、競技性に偏りすぎず、観て参加し交流が深められる運動会を目指していきたい。			
体育事業	公民館卓球大会・第21回小学生卓球大会			地区費	継続	1	27	27	1,665	2月21日	上村小学校体育館
	目的	小学生と地区住民を対象に、地域に根ざしたスポーツ活動(卓球)の普及と住民交流を図る	実施内容	上村公民館及び南信濃公民館合同事業として開催。 上村小学校・上村卓球クラブ・遠山中学校などの協力による実行委員会体制で運営。			評価	【総括と今後の方向付け】 合同開催になり2年目となるが、南信濃地区の参加者が少ない状況である。両地区体育委員会を中心に実行委員会体制でスムーズな運営が行われている。しかしながら上村地区と比べると卓球熱が少ないこともあり、今後合同開催の目的について、当該事業ではない展開も含め検討していく必要がある。			
体育事業	南信濃剣道大会			地区費	継続	1	24	24	30	2月14日	B&G海洋センター
	目的	地域住民を対象に、スポーツを通じたコミュニケーション機会の提供を図る。	実施内容	和道剣道クラブとの連携事業として実行委員会体制で実施。 ■個人戦 ■素振り・面打ち採点			評価	【総括と今後の方向付け】 和道剣道クラブは10数年活動を休止していたが、地元剣道経験者らにより平成22年から小学生を中心に活動が再開された。以前は弓道・柔道と合わせ武道大会と位置付けていたが、人数の減少から中止をしていたため、剣道大会のみ実行委員会形式で開催した。子供たちに練習の成果を発表できる機会を設けることにより、お互いが研鑽し合う良い機会となった。次年度以降は更に地域内に周知した大会となるよう検討していく。			
広報事業	館報「やまなみ」の発行			地区費	継続	5	72	7	1000部	通年	地区内
	目的	地域住民を対象に、地域の課題に対する関心を高めることを目的とする。	実施内容	シリーズで掲載する内容のほか、特集ページでは広報委員が情報発信すべき地域の話題をとらえて掲載している。年4回発行。 第169号 6月30日発行 特集:南アルプス国立公園指定50周年 第170号 9月30日発行 特集:未来への回顧 木沢小学校 特別号 10月31日発行 運動会特集号 第171号 1月31日発行 特集:南信濃地区成人式 第172号 3月31日発行 特集:峠の綱引き合戦 シリーズ:「石仏シリーズ」「こんにちは赤ちゃん」「ファミリーアルバム」「やまなみ賛歌」「てんぐのくしゃみ」「熱々カップル」			評価	【総括と今後の方向付け】 毎号特集記事に力を入れ、その時々にあった話題を掲載し、過去活動してきた取り組みを再度掘り起こすなど、より地域住民に親しみが持てる紙面づくりを意識している。次年度以降、効果的に情報発信ができるように、文章講座などを実施し、委員の技術向上を図りたい。			

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	健康祭り		市・地	継続	1	48	48	1,665	1月25日	B&G海洋センター
	目的	地域の住民を対象に健康や食に対する関心を高め、自身で行う健康づくりのきっかけの場を提供する。	実施内容	地域住民を対象に、健康に対する意識を高めるために実施。また小学生が講師による高齢者向けの健康づくり講座を取り入れた。 小学生による健康づくり教室 講師：和田小学校ボランティアの皆さん ノルディック・ウォーク講座 講師：特定非営利活動法人ITSP飯田スポーツクラブ 福澤研二さん			評価	【総括と今後の方向付け】 高齢者を対象として、健康福祉委員会と包括支援センターと連携した事業として実施。今回は高齢者にターゲットを絞り込み実施したが、歩くことや身体を動かすことの大切さを学ぶ機会とすることができた。また小学生に声掛けを行い、小学生が高齢者向けに教室を組み立てるなど新たな取り組みを実施した。次年度に向け、健康・観光の視点からノルディックウォークを活用した事業展開を図っていきたい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯田ムトス大学事業		市費	新規	10	72	12	1,665	実施内容参照	実施内容参照
	目的	地域の若者を対象に地域を自らのこととして考えられる人材を育成していくことを目的とする。	実施内容	南信濃若者プロジェクト会議を活動母体に、東京農工大学の知見を取り入れながら活動を実施。 ①若者プロジェクト会議の開催 5/24・6/4・7/10・7/15・10/28・1/19 場所：南信濃地域交流センター 内容：市政懇談会の提言検討、子育て環境の整備についてほか *1/19アドバイザー：東京農工大学朝岡教授・二ノ宮特任准教授 ①遠山2地区合同会議 11/26・2/23 場所：南信濃地域交流センター 講師：東京農工大学朝岡教授・土屋教授 内容：アンケート分析と今後の取り組み検討 ②地域内アンケート結果の報告 南信濃市政懇談会 7/15 参加者：101人 飯田市公民館大会 2/15 参加者64人			評価	【総括と今後の方向付け】 地域を担う若者が集い語り行動に移していく取り組みとして平成24年度から南信濃若者プロジェクト会議が設置された。昨年度実施したアンケートを基に、子どもの居場所づくりを重点テーマと置き、公民館が実施する長期休暇中の連続講座を中心にモデル事業を組み立てた。また、アンケート結果を市政懇談会や飯田市公民館大会で若者の視点で発表するなど地域へのフィードバックも実施した。次年度はアンケート結果を詳細に分析し具体的な行動計画に繋げるよう取り組むとともに、多くの参加者の若者の声を活かせるようメンバーを広く募集するなど地域の若者の力を最大限に活かせるように引き続き支援を実施していきたい。		

Aブロック公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	旧市5地区野球大会	地区費	継続	1	100	100	8チーム	5月11日	押洞運動場
	旧市5地区の市民を対象に野球を通じての交流を目指す。	各地区とも既存の野球チームがないため、体育委員等が中心となりチームを編成し開催している。 参加チーム8チーム：橋北:1 橋南:1 羽場:2 丸山:1 東野:3				【総括と今後の方向付け】 準備・審判等も参加チームによる自主的な運営が定着してきている。5地区の貴重な交流の場となっているので、雨天中止とならないよう来年度も予備日も設け、できるかぎり開催していきたい。			
ブロック事業	Aブロックシニア・レディースソフトボール大会	他会計	継続	2	150	75	5チーム	実施内容参照	押洞運動場
	旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	OBソフト、レディースソフトのチームの試合に通じての交流と親睦。 春季大会:5月25日 秋季大会:11月3日				【総括と今後の方向付け】 各地区ともシニアの団体があるため、自主的に運営をしている。引き続き実施していきたい。			
ブロック事業	Aブロック女性バレーボール大会	他会計	継続	2	120	60	6チーム	実施内容参照	実施内容参照
	旧市5地区公民館に所属するバレーボールチームを対象にバレーボールを通じての交流を目指す。	各館所属のバレーボール団体のリーグ戦による交流試合。 春季大会 期日:6月17日・24日 場所:浜井場小学校体育館 6チーム参加 秋季大会 期日:10月15日・22日 場所:丸山小学校体育館 7チーム参加				【総括と今後の方向付け】 各公民館所属のグループの練習の成果発表の機会、交流につながっている。次年度以降も当番館を中心として実施していきたい。			
ブロック事業	旧市5地区少年野球大会	他会計	継続	1	70	70	4チーム	11月22日	押洞運動場
	旧市5地区少年野球チームを対象に野球のレベルアップと交流を目指す。	「橋北・橋南合同チーム」と「羽場・丸山・東野合同チーム」の参加で大会を行った。				【総括と今後の方向付け】 企画運営を自主的に各少年野球チームの保護者がおこなっている。丘の上の児童も減少傾向にあり、来年度も旧市5地区全体で2チームとなるため、今後の存続も含め、次年度以降の実施方法の検討をしていく必要がある。			
ブロック事業	Aブロック広報・館報研修会	他会計	継続	1	33	33	50	6月8日	羽場公民館
	旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	テーマ「誌面に映える写真の撮り方」 講師 南信州新聞社 佐々木氏 新聞の校正における基礎知識を聞き、その後フィールドワークとして羽場セントラルパークにて写真の撮り方について研修を行った。後半は各館から質疑応答を受けながら情報交換を行った。 終了後は、広報委員が交流する機会を設け、懇親会を実施した。				【総括と今後の方向付け】 わかりやすい研修内容で参考になった。昨年度に引き続き、研修の後に懇親会を実施したが、良い交流の機会になったと思われる。来年度以降も情報交換という部分と交流という部分の両方を大切に、継続して実施していきたい。			
ブロック事業	丘の上5地区囲碁ボール大会	他会計	継続	1	100	100	30チーム	3月1日	丸山小学校体育館
	旧市5地区の住民を対象に、ニューススポーツの普及のための講習と交流を目指す。	旧市5地区のニューススポーツでの交流のために開催した。 2回目となる今年度は、各地区で地区全体に参加者募集の周知を行った。 参加チーム:30チーム(各地区より6チーム参加) 優勝:羽場 大会終了後には、スポーツ推進委員と体育委員による懇親会を行い、5館の交流を行った。				【総括と今後の方向付け】 今年度は一般住民対象の大会としたが大人数の参加者を得ることができ、各地区で囲碁ボールの普及が進んでいることが伺えた。囲碁ボールをはじめとした誰でもニューススポーツの普及により地域の健康促進と交流を図ってきたい。			

Aブロック公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Aブロック芸能祭		他会計	継続	1	150	150	21団体	6月15日	飯田市公民館
	目的	旧市5地区で活動する団体を対象に芸能発表及び交流の場となることを目指す。	実施内容 2年に1度の開催。代表者会を開き、出場順を決定。一週間かけて飯田市公民館ホールにて、ホール担当者を交え音響と照明のリハーサルを行った。芸能祭は、プログラムを地区内回覧し当日を向かえ参加者や観客で賑わった。			評価	【総括と今後の方向付け】 1団体を除けば、参加者が高齢化していることが課題となっている。しかしながら、この芸能祭を楽しみにしている参加者や観客もいるため新たな団体の育成を行い芸能発表を盛り上げていく必要がある。 今回は、Aブロックすべての主事がリハーサルから参加してくれたためスムーズに進行することが出来た。ブロック事業として継続するために協力して事業を遂行する必要がある。			

Bブロック公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Bブロック館長・主事学習会		0円	継続	1		9	9	実施内容参照	実施内容参照
	目的	Bブロック館長・主事を対象にブロック内に点在する地域資源の学習会を開催し各地域に対する認識を深める。	実施内容 Bブロックの各地域に対する認識を深めるだけでなく、地域資源を活用した事例を学ぶことで自館の事業に役立てる。 今年度は「地域学習をもっと盛り上げよう！～山本地区のウォーキング事業の紹介～」 月日：11月26日 会場：山本公民館 内容：山本地区のウォーキング事業の紹介 講師：林 武史 館長 2班に分かれて地域学習に関するグループワーク			評価	【総括と今後の方向付け】 Bブロックは隣接した地域同士ではないため各地域を知る機会があまりない。そのため6年前よりこの学習会を開催している。地域資源を活用した取組みや各館事業を学習することで自館の事業に役立つ企画となっている。各地区の地域資源を研修を通じて学ぶことができ、それに関わる方の想い・手法等を理解する事ができたため、自館の取り組みに取り込めることができらばと思う。			

Cブロック公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Cブロック情報交換会		他会計	継続	1		60	199	6月15日	上村コミュニティセンター
	目的	公民館委員を対象に、更なる自主的な活動への発展を図る	実施内容 Cブロック公民館委員(文化・体育・広報・育成等)を対象に、情報交換会を実施。今年度は次のような形態で実施した。 文化・育成分科会：上村地域探索と意見交換 体育分科会：ワンバウンドふらば～るパレー 広報分科会：企画(特集)記事の工夫について (講師：南信州新聞社 佐々木 崇雅 記者) 上記に属さない委員会の委員は希望の分科会に参加			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年度と同様に研修・情報交換を分科会ごとに開催した。今回は上村地区を会場としたことから、上村地区の紹介を全体で行ない、まずは知ることから始めた。分科会では、担当地区委員がテーマを設定し、企画運営を主体的に実施した。懇親会では上村の委員さんを中心にジンギスカンをはじめとした食事を準備していただき、地区を超えた交流を行い、参加者からは好評であった。地域の特色、上村らしさが出た情報交換会となった。来年度以降も引き続き情報交換会として内容を検討しながら実施していきたい。			

Dブロック公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック小学生交流会		市・地	継続	1	46	46		8月5日	三穂公民館
	目的	ブロック内の子どもの交流を図り、地域への愛情と、豊かな社会性や協調性を持った子どもを育てることを目的とする	実施内容	人形劇フェスタにあわせて、人形作りを通じた小学生の交流会を実施 内容：パクパク人形作りワークショップ、製作した人形を紹介、昼食交流 対象：上久堅、千代、千栄、龍江、川路、三穂小学校の児童 参加者：小学生33人、スタッフ13人 講師：吉澤亜由美氏（人形美術家、元人形劇団ひとみ座）			評価	【総括と今後の方向付け】 対象を昨年の4～6年生から全学年としたこともあり、多くの児童の参加があった。また、学童保育、児童クラブの職員もスタッフとして関わってもらう事ができた。複数の学校の児童でグループを作り行った。作り方を確認し合ったり、工夫する部分を見せ合ったりしながら、自然にコミュニケーションをとる事ができていた。普段交流の機会のない地区の子どもたちと交流でき、貴重な体験ができたと感じる。年度当初は複数回の実施を計画していたが実現しなかった。今後は、地域を越えたより良い交流を目指して、実施内容や企画・運営方法を検討し、公民館職員だけでなく、学校、親等が関わる中で行われる地域の取り組みとしていきたい。		
ブロック事業	Dブロックママさんソフトボール大会		地区費	継続	1	60	60	60	8月31日	竜峡中学校
	目的	Dブロック5地区で活動するママさんソフトボールチームを対象に、地区を超えた交流と健康増進を図る	実施内容	龍江・三穂・川路の3地区のママさんソフトボールクラブが参加して実施。 夏季大会 メンバー不足、日程調整が困難等の理由から中止 7月25日（金）に竜峡中学校校庭で合同練習を開催 秋季大会 結果 優勝：川路 準優勝：龍江 3位：三穂			評価	【総括と今後の方向付け】 選手の高齢化、新規加入者の減少などから、各地区のチーム存続が危ぶまれる状態となっている。今年も年2回の開催を予定していた大会を1回にしたが、夏季大会のかわりに合同練習を実施するなど、地区を超えた交流が継続できた。今後については、次年度になってからチーム代表者会を開催し決定していく。		
ブロック事業	Dブロックバドミントン大会		地区費	継続	1	60	60	60	9月14日	竜峡中学校
	目的	Dブロック5地区で活動するバドミントンチームを対象に、地区を超えた交流と健康増進を図る	実施内容	上久堅、千代、龍江、川路、三穂のバドミントンクラブが参加し交流戦を実施 結果 優勝：三穂 準優勝：川路 3位：龍江 4位：千代 5位：上久堅			評価	【総括と今後の方向付け】 チーム代表者による自主的な大会運営が確立している。また、5地区全てからチームが参加しており、地区を超えた交流の機会となっている。今後については、次年度になってからチーム代表者会を開催し決定していく。		
ブロック事業	Dブロック交流スポーツ大会		地区費	継続	1	80	80	250	2月22日	三穂小学校
	目的	スポーツを通じてDブロック公民館委員及び住民同士の交流を行い、各地区の情報交換の場とする。また、ニュースポーツの更なる普及と参加者の運動不足解消を図る。	実施内容	5地区公民館委員および各地区で活動するワンバウンドふらば～るバレークラブ、もしくは有志によるチームが参加して交流戦を実施 種目：ワンバウンドふらば～るバレー 参加チーム：上久堅、千代、龍江、川路、三穂公民館 各館1チーム、各地区クラブもしくは有志チーム 各地区1チーム 共催：Dブロックスポーツ推進委員 結果：公民館ブロック 優勝三穂 準優勝千代 3位川路 4位上久堅 5位龍江 クラブブロック 優勝上久堅 準優勝三穂 3位龍江 4位川路 5位千代 その他：試合終了後、三穂公民館で交流会を実施			評価	【総括と今後の方向付け】 実施に先だって、スポーツ推進委員と公民館主事で懇談会を行い、本事業の検討や、地区内のスポーツの推進について意見交換を行った。今年度も公民館役員に加え、クラブチームの交流も含めて実施し、試合と交流会を通して交流を深めることができた。今後については、共に本事業の運営を行うスポーツ推進委員と協力して、運営方法や開催内容について検討を行っていく。		